

広報



ごとようめ

発行所 秋田県五城目町役場文書広報課編集

電話 (01885) ② 代 2100番

印刷所 湖 東 印 刷 所

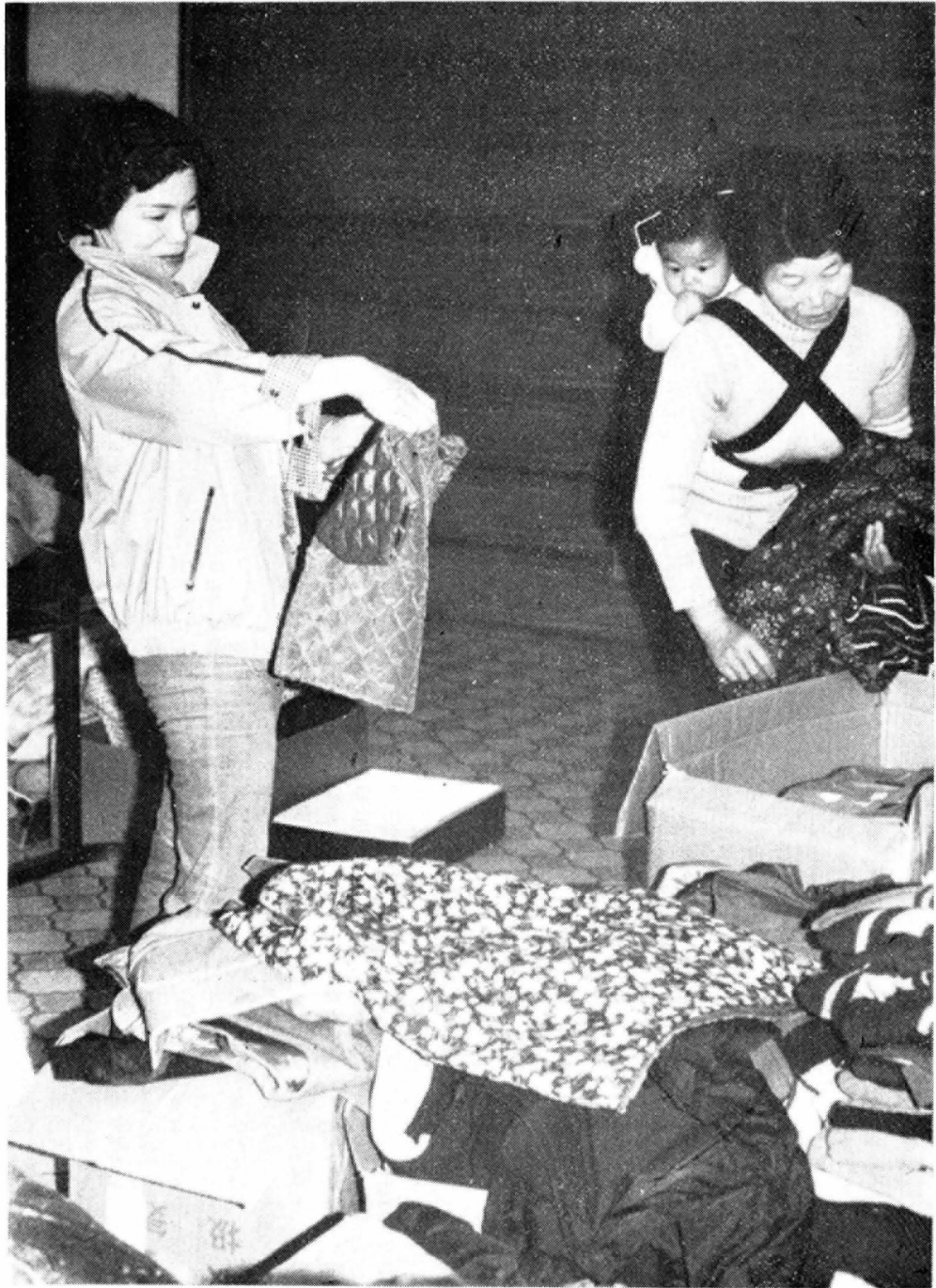
電話 (01885) ② 2430番

一部 5円 郵便番号 018-17

毎月 1日・15日発行

不用品交換会の意義

みんなの英知で生活防衛



おあげします

出品数二千点を超す

十一月二十九日・三十日町民センターで「くらしを見直す消費生活展」が行われた。この生活展は、町の教育委員会と公民館が主催し、これに資源再利用実践委員会が協賛して行われたものである。

当日の会場には、省エネルギーや洗剤関係のパネル五十五点が掲示されたほか、付帯事業として「不用品交換会」も行われた。これは会員が不用品をお互いに持ち寄って交換し合うもので、加えて、鍋、鍋、丸恵具服店、鈴木靴店などのご協力もあり、出品総数は二千点を超えた。その種類は、衣類を筆頭に、日用雑貨、カバン、靴、袋物、文房具、お盆、ズボンプレスナーなどで多岐にわたった。不用品と思えないほど新しさを保っており、値段がまた格安で会場には予想をはるかに超える六百人ほどの人が足を運んだ。主催した人々は、くたくたな体の破れも忘れてその成功を喜び合った。

交換会の人気の背景

不用品交換会が、これほど高い人気を呼ぶ背景を考えてみた。

高度成長を追い続けたころは「消費は美德」とされ「大きいことはいいことだ」物質的な豊かさを行動基準に置く考え方が、国民的な習性として次第に培われていった。ところが、その豊かさを維持する生産過程の副産物が、人々の生産環境を破壊し、人体をむしろ害した。物の豊かさを享受するには、尊い人命の犠牲がいつもついてまわることも人々は知った。そして、豊かさを支える資源は外国に目いっぱい依存しており、第一次、第二次石油ショックで、日本の経済は様々な形でコントロールされることも痛いほど知らされた。

「物を得て、心を失った」軌跡を否定なく反省させられたのである。

積極的に節約に取り組む

価値観の転換とか、新しい思想だとかよく言われるが、何のことはない国民的な規模の節約で生産性をいかにしてかためていくかにつぎのことはないかと思われる。

この不用品交換会は、身につけた心のおこりを洗い落とし、新なきびしい時代を生き抜くに足る意識の変革の現れであろう。会場のムードは、節約という言葉から受けがちな消極的な生活縮少ではなく、むしろムダをはぶき積極的に生活を変えていこうとする姿勢がアリアリであった。

共用の集会所がほしい

—中川原・館町合同町政座談会—

十一月十日岩野公民館を会場に、中川原、館町

合同町政座談会を行った。二町内が合同で行う

のは珍しいケースであるが、二十年前では同

一町内であったことも手伝って、地域的には同

り共通の話題も多く、そのメインテーマは集会

所の建設であった。

両町内は町の改造拠点と目される位置にあり、

道路網の整備などにもなる町内環境の変化に

どのように対応すべきか、また、館町は高台の

ため水庄の問題に切実さがあり、町執行部と真

剣な話し合いが行われた。

以下座談会の概要は次のとおりである。

(司会館町町内会長金子松之助氏)

ささやかな要望を町の施策に

猿田(中川原)会長

本日町当局のご好意により合同の町政座談会を開いたところ、多数のみなさんからお出席をいただき感謝している。

ご承知のとおり、町では、町民センター、広域体育館、運動公園の建設整備をはじめ、都市計画による道路の整備、磯ノ目地区区画整理にもなる磯ノ目大橋の完成、そして役場庁舎の新築計画など町内は、めざましい変化発展をしております。誠に喜ばしい次第である。

しかし、一方では磯ノ目大橋からの延長道路、町民センター前道路の延長などで、私たち中川原にどのような影響をおよぼし、人の流れがどのように変化するか、いちまつつ不安を持っているのも事実である。

私たちがこのような変化にどのように対処すればよいのか、やはり町の施策をよく聴いて、それを

画である。今でこそ、各町村ともほとんど長期計画をたてているが私が最初やったころはまだ、他町村では長期計画の作業はしておらなかった。

開発公社で用地確保

町で行う仕事は沢山あるが、限られた財源で多くの仕事をするには、計画的に進めないと、仕事上のむだが生じたり、どの程度の仕事ができるのか、はあくできなかったり、いろいろな制度を利用して町で金を借りるのを見定めることができないので、長期計画を作らしたわけである。

最初の任期中は、主として用地確保に主力を注いだ。これは道路を造るにしろ、いろいろな建物を建てるにしろ、用地確保が一番むずかしい仕事であるため、すぐ開発公社を設けたのもそのためである。

具体的にあげてみると、過去において、馬場目小学校付近に建物が集まったこと、富津内大手に建てられた児童館はまた、建物はあが外で遊ぶ場所がないなど、すぐ問題が発生している。段取りが悪いとムダにつながる。

私は長期計画のおかげで、あまりムダや大きな問題が生じておらないと思っている。

末端の市町村は主人公

今までであれば、国の建物が一番立派で、その次は県の建物という具合に、意識するところはないにかかわらず現実がそうになっている。しかし、時代は変わり、民主主義というものは、末端の市町村こそ主人公であり、県の建物が立派で、町がその程度のものは建てられないというところは誤った考え方で

なろうかと思っている。

当時(広域体育館、町民センター竣工の五十年ころ)としては、ざいたくではないかとする批判もあったように思うが、最近、五城目程度のものはあちこちに建てきており、これもまた、そんなに大きな失敗ではなかったものと受けとめているところである。

役場庁舎実質二千年で完成

だんだん町の輪郭もできてきているが、行政的な最後の建物である役場庁舎も着手できる状態になっており、これも偏にみなさんのお力添えの賜と感謝しておるところである。

現在の役場は、ご承知のように中学校移転(昭三四・四・一)跡を利用して、鉄骨より木造の方がよい部分もあるが、職員の衛生的な面からも建てざるを得ない時期にきていると判断して、今年度予算にそれを計上させていた。約十八億円(建築費)を見込んでいたが、お金は三千万で支払い、工事は実質二年以内で完成させたいと考えている。

役場庁舎の事業費には一銭の補助金もない。したがって全部私たちの税金で払うことになる。今の土木技術を駆使すれば一年で完成するが、財源の関係から三千年計画で建てたいということである。

役場庁舎の規模については、四階建てで約九千平方メートルになっている。一階から三階までは役場で使用し、四階は議会から使っていた構想である。ただ今設計を急がせており、年内に入札すべく努力をしているところである。

矢場崎(グ)を宅地造成

財源を全部借りるというわすに

はいかないので、由緒があり惜しい場所であるが、矢場崎グラウンドを宅地造成して分譲し、建設財源の一部として使わせていただきたい。その他役場所有地で処分できるものは処分し、おそらく実質的には五億円以上になるものと見込んでいる。

まだ人口は減っている。減っている理由は沢山あるが、住宅用地がなかなか手に入りにくいのも理由の一つであると考えており、その意味で大川(曙町)や上田町、広ヶ野など、開発公社を通じて宅地分譲をしているが、まだまだ足りないだろうと思っている。

このたびの国勢調査によると、総体的には減っているが、地区的にみると、大川、面瀬など、部分的にはあるが増えているところもある。しかし、実態は減っている。宅地分譲ですべて解決できるとは思っていないが、今後重点事項に取り上げていきたい。

磯ノ目地区の区画整理は、町内のみなさんからの協力によって仕上りつつあるが、田町の方からも区画整理(羽黒前)をすべきだと関係者の大多数の意見がでてきており、四渡園下の地帯を区画整理で宅地造成する手はずになっている。

町内各地から区画整理の希望がある場合は、積極的にこれを取りあげ、宅地造成をしていきたいと考えている。

役場庁舎を最後に、本来の行政機関施設から区画整理のような仕事に比重を移していく段階になりつつある。

現在の役場庁舎の跡は、雀籠運動公園の一部に拡張整備したいと思っており、付近にある十数軒の家屋については、話し合いの結果

移つてよろしいという状況下にある。移転事業を始める前に、ぜひ宅地造成をしながら、町外流出のないような態勢づくりをしながらやっていきたい。

馬場目川両岸を一体化

今、護岸を整備しているが、雀籠運動公園をスタートに、馬場目川護岸の両岸を一体化したランニングロードにしたいと考えて、県側と折衝している。おおよそ了解を得られる見通しがついている。

町道雀籠線については、今年度の用地買収をほぼ終わっている。来年度も引き続き用地買収をして西側に道路を延ばしていきたいと考えている。

あるいは赤字も

町の仕事はまだ沢山あるわけ、その事業資金も相当必要とされるが、議会等には何十年に一回(役場庁舎)より建てることのできないこともあるので、あるいは赤字を出さざるを得ないかも知れない、と説明をしているところである。

冷害などで景気もさっぱりとさらに不景気な顔をしている人もいますが、みなさんと一緒に元気を出してやっていきたい。そのためには、町内のみなさんがもっと元気を出せるような施策に比重を移していかなければと思っています。日ごろの失礼をお詫び申し上げて私のあいさつとしたい。

天理教移転跡へ集会所を

本間与四郎(館町)

この件については、中川原と館町の共同提案である。館町の場合今までの集会所は児童館を利用させていただいておったが、

ありがたいことだと思っている。ただしこの場合、食はよいが、酒の方がだめなので、天理教会を利用させてもらって来た。しかしその天理教会もこのたびに移転することになったので、老人など心おきなく集会できる場所がなくなってしまう。天理教会の跡地に児童館の移転があると伺っている。土地の便宜を図っていただき付随した建物を建てたいと思っている。

公園整備の中で検討

石井建設部長心得

天理教会は、ご承知のとおり旧五高跡地に移転中で残った部分は運動公園隣接地なので、公園地として維持したいと考えている。今、雀館線の東側を公園計画で整備しているが、弓道場、トイレ、東屋などが建てられる。建ぺい率(敷地面積と建築面積との割合)が法の定めで七割となっているので、その率を超えない方法をとらなければならない。

公園の整備にともない、児童館の整備も考えているが、東側に児童遊園地もできるので、これらを総合的に判断すると、児童館を天理教会の跡に移転したらよいのではないかと検討しているところである。お話しされた集会所についても、公園地内という考え方で一応検討させていただきたい。

水の出ない日曜日

本間与四郎：日曜に限ったことではないが、特に日曜日の午前九時前後から、館町内の水道の水が出なくなる。

ご承知のとおり私たちの町内は高台にあるため立地条件も悪く、水圧も非常に低い。火災など起き

た場合大変なことになるのではないかと町内の人々は心配したり不安をもっている。どうか町当局の力で、いつでも何の心配もなく使用できる水量になるよう配慮してもらいたい。

五年ごとに拡張工事

一関民生部長：町の水道は昭和三十五年に事業を開始してから二十年になる。

開設当時は一日一人当り一八〇リットルを基準にしていたが現在では一人一日当り四〇〇リットルとなっており、年々水の使用量が多くなっている。このため五年ごとに拡張工事をしてご不便をけないように配慮しているが、今回さらに、みなさんのご要望に応えるために第五次拡張計画をまとめているところである。これは十年後の昭和六十五年の使用水量を推測した計画をもって進めるものである。

水圧の不均衡是正に努力

現在の一般家庭では職業の別なく、水の使用時間帯が集中的になるため、朝夕の炊事ときには、高台や給水の末端地域では部分的に水圧がさがり、ご不自由をかけてきたところであるが、これを解消するため当面の対策として、現在水の出が悪い館町、上樋口、西野大川方面にいたる配水管を従来の一五〇ミリ(五城目橋に取付けている)本管に新しく一〇〇ミリの

本管(西野橋に取付け)を加えて水圧の不均衡是正に努めているところ、この工事は、今年の八月十日に二百八十万円をかけ終わっている。

その結果、館町の場合であれば工事前は一・三キロの水圧から二

・二キロにアップしている。上樋口も同じ内容であるが、西野、大川方面も一キロ以上の水圧が上っており平均一キロの水圧アップになるのだからよく言ったとみていた。

第五次計画で見直しを

ところが先ほどのお話しでは高台の水の出がまだ悪いということであった。原因はいくつか考えられる。水道の蛇口が開設当時の一・五倍から四倍に増えていること、各家々に入っている排水管が細い

のではないかと、それに館町方面の本管は七五ミリの通しているが、この本管を太いものと入れ替えるなどで水圧を高くするより方法はないかと思われる。

このような内容についても、第五次計画で見直していきたく思っている。

本間(与)：天理教会協から馬川公民館へ出る道路については町でもいろいろ計画をたてているだろうが、簡易舗装でもやっていただけないものだろうか。

中学校の通学路完成次第

石井建設部長心得：天理教会から馬川公民館前に出る道路は約九〇メートルの未舗装部分についてあるが、この道路は、町の幹線道路として岩野町内から広ヶ野方面までの計画になっている。現在坊村橋から中学校までの道路が非常に悪いので、そちらを急いでいるところである。これができ次第、国の補助事業で進めたいと考えている。

また都市計画街路事業ですめている雀館線は、天理教会の

ころから、岩野町内の入口まで、口も同じ内容であるが、この路線との兼合いなど考慮して、町としては補助事業を取り入れながら一挙にやりたいねらいを持っている。

中川原に通ずる

遊歩道がほしい

小川秀雄(中川原)：町の中が着々と整備され、合併二十五周年に当る今年度をスタートに、町の発展を支える最大拠点である役場庁舎の建設に着手すると伺っているが、町民ひとしくその完成を期待している。

ところで、役場移転跡地は運動公園の一環として計画されているようだが、その計画の中に、中川原町内に通ずる遊歩道が組み込まれているのかどうか、組み込まれておられない場合、なんらかの形で取り付け道路的なものを考えてもえられないものかお聞きしたい。

堤防活用の中で考えたい

石井建設部長心得

この六月に、役場敷地を含めた一・二畧の拡張計画をたてている。区域内における計画はいろいろあるが、公園から中川原町内に通じる計画はもっておりません。

ただ、先ほど町長も申しあげたとおり、河川堤防の有効的な活用計画がある。

運動公園を起点にしたランニングロード、あるいは、遊歩道について県側と折衝しており、すぐにはできないにしても、公園ができるまでには完成させたいものだとして、検討をすすめている。

街燈の取付けと排水整備を

小玉金蔵(中川原)

五城目橋が竣工したとき、ロー

タリクラブから寄付されたナトリウム燈の光が橋の中ほどまで届かず暗い部分が多いため、夜になると非常に危険である。防犯や交通事故防止のため、中ほどにぜひ街燈を取付けてもらいたい。また橋の両端が低いため水はけが悪く、雨の日など歩行者が水しぶきを浴びるなど迷惑この上ないので、改修してほしい。

集会所建設には

地元負担も必要

町長：集会所の場合は地元からも負担してもらっている。昭辰町の場合は一銭の補助金もいただかないで町内会員が出し合って建てている。いずれ補助事業をもつてくる場合、自己負担分は地元から出してもらうという方法をとっている。

橋の街燈については、国道で県の管理となっているので、この前も県側と話し合い要望しているが排水の悪いところについても、県の方からもよく見てもらいたい。

電気料補助額のアップを

遊佐綾子(中川原)

中川原町内の五十四年度電気料の支払い額は五万五千八百九十七円これに対する補助額は二万一千四百八十六円、三八・四割になっている。しかし、五十五年度の電気料金改正にともない、月額七千一三〇円、年間支払い額は八万五千五百六〇円となる。このため町内会の財政事情を大きく圧迫している状態である。

防犯燈が布設された当初は、約五〇割の町補助があったと伺っているが、電気料の値上げに準じて補助金額のアップをお願いしたい。

要望に応えるべく努力

伊藤管財課長

料金アップにともなう補助金増額のご要望は、最なことだと思われその事情も理解できるので、今後十分検討させていただきます。

にお応えすべく努力したい。なお、中川原町内の街燈取替え工事費六〇万円に対し、町が三分の一の二〇万円を補助して、全燈取替えており、昼行燈は解消されているところである。

水道については、水の出ない原因、例えば本管を取り替えばよいのか、支管を交換すればよいのか、蛇口は何個あるのか、何時から何時まで水の出が悪いのか、町内会長さんにはご迷惑でも、各家々にこのような内容(アンケート)で調査用紙を配付してもらって、今度はそれを基に水道課の方で、各家庭を実際に調査し、本日に第五次拡張工事まで待たなければならぬのかどうか、ちよとした手入れで直るのか、その原因をはつきりさせたらどうか。よく内部でも相談してみたい。

今日は大変勉強になった。水道の問題はなんらかの結論を得て、町内会長さんの方へお答え申し上げたい。どうもありがとうございました。

※その他数多くの質疑応答もありましたが、スペースの都合で、要望事項を主体としてまとめさせていただきます。

(おわり)

交対協コーナー

飲酒運転追放!

飲酒運転は、最も悪質・危険な違反です。冬は、年末・年始など飲酒の機会が多くなるためか、飲酒運転をする者や飲酒運転による事故が多くなります。

飲酒運転追放運動をみんなで強力に展開しましょう。
交通安全で明るい年末年始を



- ▽文部大臣表彰
築地宏之(町教育委員会)
- ▽秋田県知事表彰(統計調査員)
大石 専之丞(下山内)
伊藤 颯雄(北村)
松橋 正之助(浅見内)
- ▽県統計功労者表彰
本町から大石氏等表彰さる
- 秋田県統計功労者表彰式は、十一月十八日、県教育会館で開かれ本町では次の方々を受彰しました
- ▽取扱窓口
国民金融公庫、各信用金庫、各銀行、相互銀行、信用組合、漁協、農協
- ▽問合せ先
国民金融公庫秋田支店
秋田市千秋矢留町二番八号
電話0188(32)5641
- ▽返済方法
毎月元利均等返済(ボーナス月に増額返済も併用できます)
- ▽取扱期間
五十六年一月から受付けますが、なるべく早目に相談してください。
- ▽融資期間
学校入学金、授業料、学校納付金など進学に必要な資金
- ▽融資額
一世帯あたり五十万円以内
- ▽資金の使いみち
一 資金の使いみち
- ▽利息
利用時の基準金利
(五十五年十月現在年九・一%)
- ▽保証人
一名以上(ただし財団法人進学資金融資保証基金を利用される場合は不要です)
- ▽返済方法
毎月元利均等返済(ボーナス月に増額返済も併用できます)
- ▽取扱期間
五十六年一月から受付けますが、なるべく早目に相談してください。
- ▽融資期間
学校入学金、授業料、学校納付金など進学に必要な資金
- ▽融資額
一世帯あたり五十万円以内
- ▽資金の使いみち
一 資金の使いみち

簡単な手続きで利用できる

国の進学ローン

来春、高校、大学などに進学する子どもさんをお持ちのご父兄の方は「国の進学ローン」を利用できます。

この「進学ローン」は、大変好評で、昨年度は全国で二百三十億円の融資をしています。今年度は融資枠を四百億円に増額し、五十六年一月から取扱いを開始します。

融資制度の主な内容は次のとおりです。融資を希望する方は、お早目に公庫の進学ローンの係に相談してください。

▽融資額
一世帯あたり五十万円以内

▽資金の使いみち
一 資金の使いみち

▽融資期間
学校入学金、授業料、学校納付金など進学に必要な資金

▽統計グラフコンクール

・入選

「アンバランスな秋田貿易」
杉沢中三年 佐々木恵理香

「農外収入に頼る農家」
杉沢中三年 佐々木 司

「県内のお金の動き」
杉沢中二年 佐々木博文

「佳作」
佐々木 和徳

(国)税だより

◎お酒や品物にかかる税金

お酒やその他の品物にかかる間接税は、私たちの日常生活に深くかかわりを持つ身近な税金です。この間接税は、品物の価格の中にその税額が含まれていますので品物を買った消費者が最終的に負担することになります。

そこで、間接税の主なものである酒税と物品税について、そのあらましを説明しましょう。

(酒税)

清酒、ビール、ウイスキーなどの酒類にかかる税金で、酒類が製造場から出荷される時にその数量に税率をかけて計算します。また、値段の高いお酒については、税負担の公平を図るため、出荷価格に税率をかけて計算します。

(物品税)

宝石や貴金属、ゴルフ用品、自動車、ルームクラーなどの装飾品や娯楽用品などの品物で、一定額以上の物にかかる税金です。取引の形態によって、宝石などのように小売の段階でかかるものと自動車のように製造場から出荷されるときにかかるものとがあります。

わたしの教員生活 ⑩

中村 清次郎

終戦前の普通教室は、たいいてい正面に日本地図、世界地図が左右に中央黒板の上には、歴史年代表かその級の教育目標が掲示されていた。地図や年表は市販のものもあつたが、わたしたちは、自分の手で書いて張った。とくに年表に絵を入れて作った時は、子どもたちがたいへん喜んだものである。

昭和十年、尋常一年生の算数が變つて、新しく絵本のような色刷りの教科書が出来た。時の校長曲田慶吉先生がわたしに、新しく改訂された一年の算数指導には経験



手作り資料で授業

昭和十三年四月、当時、小学校書房手本は毛筆で一年生からあつた。書者は鈴木翠軒先生で程度の高いもので、そのねらいとするところもむずかしく適当な指導書も見当らなかつた。わたしは色々な本をあさりながらそれなりの指導書を作ってみた。鈴木先生の文字を真似て書くだけでも容易でなく特指導要領のねらい等もあつて苦労した。二年間でようやく一年生から六年生までまとめあげたが自信のないものであつた。

昭和十五年秋の郡教育品展に、柳谷直比古校長先生に勧められて出品することにし、五月から清書に取りかかり、夏休み中に完成の予定が九月いっぱいしかつて全六巻を書きあげた。製本したのが出品間近の十月十日で、この時は専修学校の永田先生がわたしの家へ手伝いに来て、夜十一時頃までかけて和綴りの本をまとめた。

この作品も郡教育品展で優秀賞に選ばれた。この時、当時の県視学がよい本であるから現場に活用するよう言われたので、自分はもちろん他の先生たちもよく利用してくれて仕合せに思っている。終戦とともに教科書は変わり、この指導書も必要なくなり、思いつきの品として、今も四巻持っている。(五・六年分はどなたか活用していると信じている。)

冷害農家に

天災融資法で経営資金

— 申込期限 十二月十一日まで —

今年は一十一年の冷害を上回る低温災害で、被害農家のみなさんにとっては無情な秋となった。町ではこのような被害農家救済に、できる限りのお手伝いをするために「天災融資法による経営資金の融資」を県および国の方へ申請していたところ、本町全地域が一般被害地域(五・〇五資金該当)が認定され、さらに、内川富津内地域が特別被害地域(三・〇資金該当)に指定された。

融資総額千三百万円配分されている。町ではこの資金を、次の内容により、年内貸付けをしたいと考え

二 貸付け条件
一 貸付け限度額 二〇〇万円

三 融資総額
三・〇資金 一千万円
五・〇五資金 三百万円
お早目にお申込みください。

自作農維持資金

ご利用の方お早目に

町の農業委員会では、今年度災害に係る自作農維持資金(災害)の貸付けを次の内容により受付けているので、希望者は早目に農業委員会の方へお申し込みください。

自作農維持資金(災害)

申込み受付要領

一 貸付対象者

耕作面積一・一畧以上の農業経営者で、五十五年度に発生した災害に係る被害農業者である

町の公民館主催で資源再利用実践委員会協賛のもとに、十一月七日午前七時から九時まで、第三回廃品回収を行う。前回と同じく

三回目の回収にご協力を

— 十二月七日体育館へ —

お金に替えることができないもの。

牛乳ビン、シャンペン、ワイン、ビール、油びん、タトロ、サンタリ、ダルマ、リザーブ。

Smokin' Clean

吸いがらは必ず消してから灰皿に



ちょっとした心づかいも味のうち

ねんきん通信

それは違う

＝ 勘違い特集 ＝

あと滞納しても年金がでる。？
出ることもありますが、きわめてまれ。この場合は通算年金ですが、加入して納めなかった期間は通算されません。滞納すると出ないと思ってください。

その二
保険料を納めても所得があると年金は出ない？
拠出年金は、所得が多い少ないは関係なく支給されます。全額国の負担であるため、ある程度所得があると、支給に制限があります

その三
母子年金と遺族年金は一緒にもらえない。
ふたつの年金を、一緒にもらえないということは、同じ年金制度からの場合です。母子年金は国民年金制度から、遺族年金は他の年

金制度から出ますのでこの二は両方もらえます。
その四
六〇歳で繰り上げ受給しても、六十五歳からは、満額の年金が出る。？

六〇歳で繰り上げ受給すると四十二%減額になりますが、この減額は六十五歳になっても変わりません。つまり、六十五歳前に受けた場合の減額は一生ついてまわります。
その五
免除された保険料は、あとで追納しなければならぬ。？
免除期間があると、年金額が納めた人より少なくなりますので、あとで納められるようになったとき、納めるのが追納。追納は自由です。

こと(被害について町長の証明のあるもの)

二 貸付限度額 一五〇万円

三 貸付利率 四・六%

四 償還期限 二〇年(据置期間三年以内)

五 申込期限 五十五年十二月十一日(木)

六 申込先 五城目農業委員会

古紙をはじめビン類を次の要領で回収するので青年、若妻、婦人の各会員からよろしくご協力をお願いしたいと、主催者側で呼びかけている。

ビン類(有価)

・一・ハリットル(茶、青)・キッコーマン二リットル、ビール特大、同大・中・小、三ツ矢サイダーレモンその他、ソース(三四〇ミリリットル) 酢(六〇〇ミリリットル) カルピス、ウイスキー大・中・小、コーラ一リットル、エード一リットル。



【おしらせ】

衛生看護学院
学生を募集

秋田県立衛生看護学院では、保健科・助産科・看護科の学生を募集しています。主な募集内容は次のとおりですが、詳しいことは、同学院電話0188(32)6169に問い合せてください。

・保健科

▽募集人員 五十人

▽受験資格

女子で文部大臣が厚生大臣の指定した看護婦学校または看護婦養成所を卒業した者(昭和五十六年三月卒業見込みの者を含む)

▽願書受付期間

昭和五十六年一月十六日～
一月三十一日(当日消印有効)

公営住宅の

入居希望者募集について

左記により公営住宅の入居者を募集いたします。

記

一、所在地

五城目町神明前九五ノ一

一、種別規格

第二種木造平家建

四九・六五平方メートル

一、家賃月額一五、〇〇〇円

・助産科

▽募集人員 十五人

▽受験資格 保健科に同じ

▽願書受付期間

昭和五十六年一月五日～
一月十五日(当日消印有効)

・看護科(三年課程)

▽募集人員 三十人

▽受験資格

高等学校を卒業した者(昭和五十六年三月卒業見込みの者を含む)

▽願書受付期間

昭和五十六年一月五日～
一月十日(当日消印有効)

・看護科(二年課程)

▽募集人員 四十五人

▽受験資格

准看護婦(士)の免許を有し、次のいずれかに該当する人
・免許取得後三年以上看護業務に従事した人(昭和五十六年三月で、三年就業終了見込みの人を含む)
・高等学校を卒業している人(昭和五十六年三月卒業見込みの人を含む)

・高等学校衛生看護科を卒業している人(昭和五十六年三月卒業見込みの人を含む)

・高等学校衛生看護科を卒業している人(昭和五十六年三月卒業見込みの人を含む)

見込みの人を含む)

▽願書受付期間

昭和五十六年一月五日～
一月十日(当日消印有効)

※募集要項および受験願書の郵送を希望する人は、六十円の切手をはった返信用封筒(住所・氏名)を同封して次のところへ申込んでください。

秋田県立衛生看護学院

010 秋田市千秋久保田町6/10

夜間割引の時間の延長と「深夜割引」について

現在六〇キロを超える区間について、午後八時から翌日午前七時までの間「夜間割引」(四割引、一〇〇番扱いを含む)を行っていますが、これを次のように改定します。

一、深夜割引の実施

三三〇キロを超える遠距離区間について「夜間割引」のほか午後九時から翌日午前六時までの深夜時間帯にもう一段の割引を行い、「

深夜割引」(六割引)を実施します。(一〇〇番扱いを除く)

二、夜間割引時間帯の拡大

「夜間割引」の時間帯を前後それぞれ一時間拡大し、午後七時から翌日午前八時までとします。

三、実施日

十一月二十七日(木)

十二月十一日に

健康大学開講

五十五年度の健康大学がいよいよ十一月一日午後一時から二月まで六回にわたって開講されます。

申込みをしていない方でも受講できますのでおいでください。

当日の講座は「脳卒中予防と日常生活」について畑沢先生が講演します。

「歳末たすけあい」に

ご協力を

十二月一日から「歳末たすけあい運動」が行われますので、町内のみなさんのご協力をお願いいたします。

町の社会福祉協議会では、できるだけ一世帯三百円以上の寄付をお願いしたいとしています。

昨年は、戸別募金・職域募金などで百万円以上のお金が集っています。

集められたお金は、生活に困っている家庭・ねたきり老人・身心障害児(者)・社会福祉施設で暮らしている人たちが、明るい正月をむかえるために利用されます。

老人ホームに寄せられた善意

十一月十八日

施設交流 28回目

五城目婦人会

十一月二十九日

慰問

八郎湯町

小野恵子創作バレエ研究所

善意銀行

十一月十七日

四千元 高崎 匿名

(年金の一部を寄附したもの)

十一月十八日

六千四百円

五城目町日赤皇居奉仕団

代表 小原 順一

(アルジェリア地震被災者救援金として寄附したもの)

十一月二十二日

五万円

中川原 石井 アイ

(亡夫慶吉様の香典返しとして)

十一月二十五日

二千元

坊井地 佐々木美緒

(拾得金の報労金を寄附したもの)

誕生

おめでとう

ございます



新畑町 小浜市右工門 8、19

亮二 たろ子 長男

昭辰町 筒井 杏奈 10、17

久保 達 一美 長女

久保 築地 珠葵 10、17

安之 礼子 長女

上山内 佐々木章悟 10、19

彰 明美 長男

中村 児玉 和也 10、23

幸悦 ツヨ子 二男

煙町 諏訪 寿昭 10、23

照夫 裕子 長男

富津内落合 伊藤 沙織 10、27

博 礼津子 長女

大川三区 八柳 美咲 11、1

克則 智恵子 長女

川原町 秋廣 武志 11、3

宗雄 美保子 長男

岡本 山田 沙織 11、5

昇 ミナ子 長女

岡本 佐々木元子 11、6

仁茂 正子 二女

米沢町 松橋 和也 11、6

兼一 芳子 二男

紀久栄町 二方 淳介 11、7

征捷 正生子 三男

仲町 松田 直也 11、7

博光 陽子 長男

おくやみ

申し上げます

・九月 二九日 松橋 秀男 51 浅見内

・十月 八日 佐々木順蔵 69 岡本

十六日 石井 慶吉 67 中川原

二六日 石井 文夫 57 小倉

二六日 伊藤 リワ 80 富津内台

・十一月

四日 池田 俊 59 長崎

六日 加藤伝十郎 82 石崎

七日 金沢スエ 86 馬場目落合

八日 石井 徳治 77 黒土

九日 金沢菊治 83 馬場目落合

十一日 千葉 茂 55 下山内

十九日 浅野 泰三 74 大川二区

二十二日 伊藤チヨノ 87 北々口

一関 一実 47 久保

二二日 白川 彦三 75 仲町